

(地方創生)政策評価調書(29年度実績)

|         |     |
|---------|-----|
| 政策コード   | - 1 |
| 長期総合計画頁 | 169 |

|     |              |       |                       |
|-----|--------------|-------|-----------------------|
| 政策名 | 人を大事にし、人を育てる | 所管部局名 | 企画振興部                 |
|     |              | 関係部局名 | 企画振興部、福祉保健部、生活環境部、教育庁 |

【 . 政策の概要】

子どもを生き育てやすい環境づくりや健康長寿の社会づくりなど、自然増のための環境を整える。また、高齢者や障がい者、女性など多様な人材の活躍を促進するとともに、大分県の将来の担い手となる子どもの教育の充実を図る。

【 . 構成する政策・施策(主な取り組み)の評価結果】

| 取組No. | 政策名   | 施策名                       | 指標評価  | 総合評価 |
|-------|---|---------------------------|-------|------|
|       | 一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進<br>～子育て満足度日本一の実現～ | 次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備    | 達成    | A    |
|       |   | きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援      | 達成不十分 | B    |
|       |   | 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進    | 達成    | A    |
|       | 健康長寿・生涯現役社会の構築<br>～健康寿命日本一の実現～                | みんなで進める健康づくり運動の推進         | 達成    | A    |
|       |   | 安心して質の高い医療サービスの充実         | 概ね達成  | A    |
|       |   | 高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築      | 達成    | A    |
|       | 障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進                        | 障がい者の就労支援                 | 概ね達成  | B    |
|       | 男女が共に支える社会づくりの推進                              | 女性の活躍推進と男女共同参画社会の構築       | 達成    | A    |
|       | 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造                      | 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進       | 達成    | A    |
|       |   | グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成 | 達成    | A    |
|       |   | 信頼される学校づくりの推進             | 達成    | A    |
|       |   | 「知(地)の拠点」としての大学等との連携      | 達成    | A    |
|       |   | 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援  | 達成    | A    |



【 . 施策に対する意見・提言】

健康寿命日本一おおいた創造会議(H29.8、H30.2)  
・健康寿命延伸には、健康経営事業所の拡大と質の向上が必要。  
・県民運動の機運醸成には、多様な主体との協働による県民大会の開催等は効果的。

平成29年度第15回大分県教育委員会(H29.11)  
・高校生サミット(グローバルリーダー育成塾)では、英語での協議が予定されているが、こうした活動に慣れてくると、大きな大会等でも人前で話すときに億劫がらずにできるように。とても素晴らしい取組だと思う。

【 . 推進上の課題と今後の展開について】

合計特殊出生率は上昇傾向にあるものの、出生数は減少している。これは、若い女性の県外転出による人口の減少、晩婚化、そして婚姻数の減少等が要因と考えられる。そこで、UIJターンの促進により転出超過を抑制するとともに、出会いサポートセンターを設置し、出会いから結婚までを総合的かつきめ細かに支援する。また、子育て満足度日本一の取組を充実させるとともに、長時間労働の是正や多様で柔軟な働き方の導入など、働き方改革の機運醸成や企業支援に取り組み、多様な働き方の実現を図ることで、子どもを生き育てやすい環境づくりを進める。

また、健康寿命日本一に向け、働く世代へのアプローチと企業の健康経営の更なる促進に取り組み、健康づくりをサポートするとともに、若い世代の野菜摂取と運動不足も大きな課題であることから、積極的な広報活動を展開し若い世代への浸透を図る。併せて、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、地域包括ケアシステムの深化・推進を図る。

児童生徒の学力・体力向上に向けては、授業の質の向上を図り、小・中・高等学校を通じた一体的な指導体制を確立するとともに、県内全域に体育専科教員・中学校体育推進教員の効果的な取組事例を広く普及し、将来を担い未来を切り拓く人材を育てていく。